

集え！根津神社！



見どころ

そびえたつ根津神社の大鳥居（写真上）

根津・千駄木下町まっつりは、毎年十月に根津神社で開催されています。このお祭りは、今年で十五回目を迎え、地域の発展や活性化に広く貢献しています。メイン会場では、模擬店、小さな子どもから大人までが楽しめる出し物、地元の小中学生などによる演劇演奏、フリーマーケットなどの各種催し物を、サブ会場では、和太鼓などバラエティに富んだ個性あふれる出し物でにぎわっています。

文豪の町
根津・千駄木地域は、多くの文豪が住んでいた町として有名です。この町で夏目漱石や森鷗外、佐々木春夫などが数々の名作を執筆しました。

出合いの町
根津・千駄木地域の道の一つ一つには、風情や面白さ、出会いや発見が溢れています。一歩、いろいろな道に迷い込んでみるのもこの町の楽しみ方の一つです。新たな出会いがあるかもしれません。

伝説の町
古い伝説が受け継がれた街でもある根津千駄木地域では、蛇を動物や植物などの姿に細工をする職人技が見られるあめ細工店や、江戸時代からの伝説を受け継いだ染物もたくさん見ることが出来ます。

思わず足を止めてみたくなるものが、この町にはあふれています。

サブ会場専用シャトルバス 無料運行中！

再び歩き出した私は、蛇のようには長くはない行列を発見する。どうやらたいやきを買いにきているようだ。昼飯を食べていなかった私は、その行列に並び、たいやきを二つ購入した。たいやきの甘さ控えめなあんこを頬張りながら思う。私はいつになったら根津神社につくのだろうか……

つづく

どう行くの？

下町まっつりでしょー！

2013
10月19日
20日

2013年ほどんな年？

森鷗外生誕

150+「1」周年

森鷗外の生誕151周年。

これを記念して下町まっつりの縁日では島根県津和野町からふる里物産店が出店され、また昨年は森鷗外記念館も開館した。

制作・発行

東洋大学国際地域学部
国際観光学系東海林ゼミ



東洋大学

知ったか？ せったかクン！！



カルメ焼きってなあに？

答えは裏面へ！！



実行委員会作成パンフレット史料記号ナ

忘れません

東北大震災

下町哀愁下車

「前回までのあらすじ」
居眠りをして電車を乗り過ごしてしまった私は、根津に途中下車する。根津駅で降りた私は、あてもなく不忍通りを歩いていった。

突然、古い建物が視界に入った。三階建ての木造建築のその建物は、どうやら日本料理店みたいだ。近くに看板があり、登録有形文化財と書かれている。明治時代からあるそれは、焼痕と災難に襲われながらも必死にそこに立ち続けてきた。古い歴史と、周りに取り残された姿は、どこか哀愁を感じる。私も同じ面持ちでいるのかな、とまるで次元の違う感じ方をしていた。

縁日ゾーン拡大地図、無料配布中！
配布場所は鳥居近くで！



お助け掲示板

「お祭りにいくらを持っていけばいいのかな？」

緑日広場の屋台の商品は、高くても五百前後なので、千円で十分楽しめると思います！ご飯類からおやつ類までたくさん種類があるので、お友達と分け合いつつ、前種類を制覇してみてもいい☆フリーマーケットもあるの、お買物したいという方は、多めに持ってくる方がいいかも。使いすぎには注意して下さいね。



ちびーず劇場



「どんな服装をして行けばいいのかな？」

お祭りには、多くの人を訪れるので、人ごみの中でもしっかり歩けるような靴や、動きやすい洋服がおすすめです！メイン会場だけでなく、街中を散歩したり、サブ会場にも足を運びたいという人は動きやすさ重視がポイント！特に女性の方は、スカートやヒールのある靴だとちょっと疲れてしまうかも。



「全部の会場を回るとどれくらいかかるの？」

八つのサブ会場を歩いて回ると、学生の私たちでも約二時間かかります。子供や年配の方だとさらに時間がかかってしまうでしょう。しかし昨年からは、サブ会場を回る無料のシャトルバスが走っており、一周約四十分で回ることが出来ます！二十分間隔で運行しているのでも、ぜひ活用してみてください！



編集後記

東海林ゼミの意気込み

東海林ゼミは、下町まつりに参加して今回で五回目を迎えます。何度が街歩きをしたこともありましたが、まだまだ根津・千駄木地域の歴史や伝統について知らないことが多いと感じました。毎回新たな発見や出会いがある素敵なまちを、学生の活力で精一杯盛り上げていきますので、よろしくお願ひします！

東京おまつり情報記！

検索

ブログも絶賛配信中(^o^)

⇒<http://shojisemi.blog.fc2.com/>

谷根千川柳

下町の 活気で溢れる 根津神社

茨城県 こめちゃん

いわし雲 夕日に染まり 秋だんだん

千葉県 こーちゃん

文豪の 愛したこの坂 団子坂

東京都 なべちゃん

知ったか？ せったかクン！！

答えは…

砂糖を溶かしてふくらませて作る、甘くてサクサクした香ながらのお菓子！！
緑日ひろばで売っているから、ぜひ食べてみてね！(๑)ノ



ちっちゃいもの豆知識



知っているようで知らない!!
下町まつりに関するそんな知識を紹介しちゃいます!!

「かっぱれ」とは…?

発祥は大阪の住吉神社の御田植神事に奉納される芸能に由来します。語源は紀の国屋文左衛門が、紀州から江戸へ船出をした時の祝歌で、『かっぱれた』であると言われています。

実は二十五回目!?

下町まつりはもともと、台東区と文京区が手を組み、「文京・台東下町まつり」として平成元年に開催されたお祭りです。約十年経きましたが、その後は文京区のみで開催となり、現在の「根津・千駄木下町まつり」となっています。